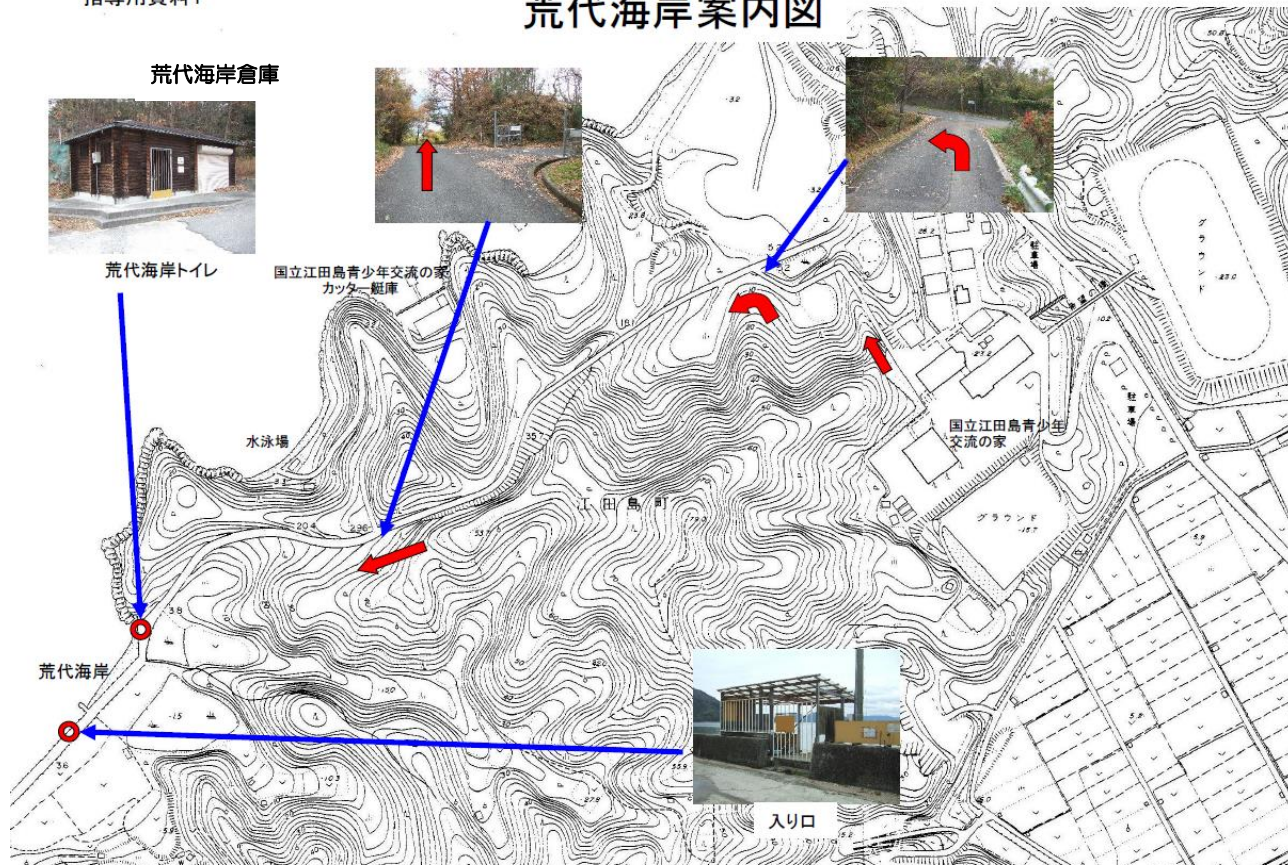


指導用資料1

荒代海岸案内図



1 マテガイの観察

◎ 外敵から身を守るため、自力で穴にもぐり身を隠す。

〈手順〉

- ① だ円形の穴をさがし、塩をひとつまみ入れる。
- ② マテガイが出てきたら、やさしく引き抜く。
- ③ マテガイを穴の近くに横たえ、観察する。

〈結果〉

殻の前端からくさび型のおしを出し、殻を地面に対して垂直にしながらもぐっていく。



2 ヒトデの観察

◎ 体が裏返ってしまっても、触手を上手に使いもとにもどり、外敵から身を守る。

〈手順〉

- ① バットに海水を入れ、ヒトデを裏返して置く。
- ② 観察をする。

〈結果〉

触手を上手に使い、体をそらして、もとのように（表）もどる。

- 砂の上、石の上、海水なし等、条件を変えて比較観察してもよい。
- バフンウニを使っても同じような観察が可能



「マリンウォッチング研修」プログラム

マリンウォッチング研修



国立江田島青少年交流の家

「マリンウォッチング研修」プログラム

◆ 概要

本所施設から徒歩約 20 分の荒代海岸で、海辺の生物の観察や採集を行う。
団体指導者が、研修指導を行う。

◆ ねらい

- 海辺の生物採集を通して、海洋生物の形態や生態を知る。
- 生き物の種類や数から、海辺の環境状態を知る。

◆ 指導者、人数など

| | |
|------|------------------------------------------|
| 対象 | 小学4年生以上 (保護者又は引率指導者がいる場合は3年生以下でも実施可能) |
| 指導 | 引率指導者 |
| 人数 | 最大100人まで |
| 実施時間 | 干潮時潮位 60cm 未満の日 干潮時刻の前後 1 時間 |
| 実施場所 | 荒代海岸 |
| 実施時期 | 5月～11月 |



◆ 準備物

| 個人 | 交流の家 *必要に応じて | 交流の家 |
|---------------|----------------|----------------------------------------------|
| 濡れてもよい靴(長靴可) | ハンドマイク(任意) | 海辺の危険生物のシート (班に1つ) |
| 軍手 | 指導用資料1, 2, 3 | |
| タオル | 手網/アクアリウム手網 | 海辺の生物シート-江田島・能美島付近でみられる主な貝類(海辺の生物) (班に1つ) |
| 帽子 | バケツ | |
| 飲み物 | ミニスコップ/ミニ熊手 | バット(班に1つ) |
| バケツ※必要に応じて | 食塩(ボトル) | クリアケース(班に1つ) |
| バインダー等※必要に応じて | マーカー, ホワイトボード等 | 救急箱(救急法の基礎知識1冊) |
| 筆記用具※必要に応じて | ブルーシート(荷物置き) | |

◆ 展開

| | 団体指導者の動き | 職員の動き |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 実施前 | ①交流の家(事務室)から必要物品を受け取る。 ②つどいの広場に班毎に整列させる。 ③健康観察を行う。 ④人数の確認をする。 ⑤職員に伝え、班毎に2列縦隊で荒代海岸に移動する。 ⑥荒代海岸倉庫から観察に必要な物品を、職員から受け取る。 | 準備物を貸し出す。 |
| 事前指導 | ①浜辺に班毎に整列させる。 ②人数の確認後、健康観察をさせる。 ③目的及び活動の留意点の説明をする。 ④注意事項を説明する。 ※ 下記の【注意事項】を必ず伝える。 ⑤採集時間の設定及び活動範囲、観察に適した場所について説明をする。 ⑥海辺の生物シート、海辺の危険生物のシートを班に配布する。 ⑦危険生物の説明をする。 | |

「マリンウォッチング研修」プログラム

| | | |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 観察活動 | ①班毎に、用具を配付し、観察・採集を始めさせる。 ②定期的に物品がそろっているか確認する。 不足している場合は班で探させる。 ③採集終了させる。 ④集合・整列・人数確認、健康観察を行う。 ⑤用具を回収、バット（もしくはクリアケース）を配る。 ⑥班毎に、採集した生物を容器に入れ観察する。 実験や観察を行う。 ⑦全体交流をする（発表・感想交流等） | |
| 活動後 | ①採集した生物を海に返す。 ②貸し出された物品を回収し、洗浄して、数量確認を行う。 職員立ち合いのもと、荒代海岸倉庫に返却する。 ③トイレの掃除をする。 ④持参した物品を必ず持ち帰る。 | |
| 移動 | ①班毎に整列させる。 ②人数を確認し、健康観察を行い、職員に報告する。 ③2列縦隊で交流の家へ移動する。 | |
| 帰着 | ①人数の確認をする。 ②健康観察を行う。 ③更衣等の諸連絡をし、解散する。 ④貸し出し物品を交流の家（事務室）に返却し、研修が終わったことを報告する。 | 貸し出し物品の数量を確認する。 |

【注意事項】

- ・班員とともに行動する。
- ・指導者の指示に従い、悪ふざけや勝手な行動は絶対しない。
- ・体調が悪くなったら、早めに活動をやめ、指導者に連絡をする。
- ・体調不良者は海辺の観察をしない。
- ・事故を目撃したら直ちに大声で叫ぶ。
- ・決められた観察区域から出たり、ひざ上まで水に入ったりしない。
- ・岩場には付着した貝が多くケガをしやすいので十分注意をする。
- ・危険生物を見つけたら、さわらないで指導者を呼ぶ。
- ・石をひっくりかえして観察する場合、観察後には石をもとのように戻す。
- ・必要以上に生物を採集しない。
- ・はだしになって活動をしない。
- ・トイレに行く場合は必ず指導者に伝えてから行く。
- ・見学者は勝手な行動をしない。

◆ 連絡先

| | 一般電話番号 | 緊急通報用電話番号 |
|-------------|----------------------------------|-----------|
| 江田島消防署（救急係） | TEL 0823-40-0358 | 119 |
| 江田島警察署 | TEL 0823-42-0110 | 110 |
| 第六管区海上保安本部 | TEL 082-251-5111 | 118 |
| 江田島青少年交流の家 | TEL 0823-42-0660 0823-42-0661 | |

